

令和2年度 自己評価結果公表シート

社会福祉法人幸輪会
若葉保育園

評価項目の達成・取組み状況・これから改善したいこと

評価項目	取組み状況
I 保育の計画性	社会福祉法人幸輪会の理念に基づき、子どもの自立を促す保育を目標として、保育計画、指導計画を作成している。縦のつながりができる異年齢交流を毎日の保育に取り入れ環境作りを重点として保育を充実させたい。生活と遊びの中で食文化に触れる機会を作り、野菜作り等の体験を通して食に対する意識ができるよう保育を進めていった。
II 保育のあり方・子どもへの発達に応じた対応	子どもが自発的に活動できる環境作りに努め、異年齢保育に向けて園児の活動を見ながら少しずつ進めていった。コーナ作りがうまく進まなかった部分もあるので、次年度も職員間でアイデアを出し合いよりよい環境を作っていきたい。 後半は当番活動等を通して仕事に対する責任感や人に対する思いやり、手伝う優しい心が育つ保育に努めた。未満児クラスも個別に対応して、発達を促す保育に努めていった。
III 保育者としての資質や能力、良識、適正	日々の保育実践から専門的知識を発揮できるように努力し、自己評価を行い次年度の保育につないでいる。 一人ひとりの人格を尊重し、子どもの発達に沿った保育を進めるように努めている。
IV 保護者への対応・支援	保護者に対する守秘義務に対しては周知し守っている。園児の送迎時に子どもの一日の様子を伝え、保護者との信頼関係ができるように努めている。 また、個別相談にも対応し、保護者と気持ちを共有できるように努めている。
V 地域や社会との関わり・地域子育て支援	地域の要請に対して積極的に参加して、協力するように努めている。 一時保育事業や園庭開放事業では、地域の方や、里帰り出産の方の受け入れも実施、子育て支援に参加している。市の社会福祉法人主催のプロジェクトにも参加、今年度は花植えに年長児が参加して地域の方との関わりを大事にしている。